

## 1. 基本方針

- (1) JIRA 会員に対する付加価値の創造を常に念頭に活動に従事する。
- (2) JIRA が掲げる「JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2025」の 4 つのビジョンを実現するための基盤として事務局は以下の活動について推進を図る。

## 2. 2021年度の主な活動項目とその成果

- (1) 業務の基本形態をテレワークにおき、それを支えるITシステム整備を進め、ワークスタイルを定着させた。コロナ禍を超えて定常的にテレワークにてJIRA事務局業務を効率的に遂行できる体制が整った。
- (2) セミナー事業化に向けて基本的な環境構築と運営のノウハウの蓄積を進めた。この知見を基に総合セミナー「画像医療システム産業入門」の準備を進めることができた。
- (3) コロナ禍中であったが、無事にITEM2021及び核医学展2021名古屋を開催することができた。また、この経験をもとにITEM2022の準備を進めた。ハイブリッド形式をさらに一歩進めて、REAL展示とWEBが相互に補完し価値を高める企画を立案し、出展社と来場者どちらにとっても価値のある会となることを目指す。
- (4) 税制証明書発行業務について、6月に関連法案の変更があり生産性向上特別処置法が廃止され、中小企業等経営強化法に一本化された。この税制に対応し、64件の先端設備等に係る生産性向上要件証明書発行を行った。

## 3. 2022年度の活動計画

JIRA会員に対する付加価値の創造を念頭に活動に従事する。

事務局は、JIRAが掲げる「JIRA画像医療システム産業ビジョン 2025」の4つのビジョンを実現するための基盤構築のため以下の活動を推進する。

- (1) 在宅勤務を主体とした事務局活動においても、効率的な事業継続が可能なワークスタイルを確立する。
- (2) ニューノーマル時代に即した部会・委員会活動の変革の中で、浸透しつつあるWEB会議による部会・委員会活動を支えるために必要なインフラを継続的に整備・拡充し、活動の活性化を支援する。
- (3) 会員企業との協力により人材確保の仕組みを構築し、出向・直接雇用も含め部会・委員会の人材確保を強化する。
- (4) 会員企業に対する付加価値向上ために、新規事業としてスタートしたウェビナーを主体とした有料セミナー事業の企画・運営を本格化させ事業の柱となるべく成長を図る。
- (5) コロナ禍により新たな曲面を迎えた展示事業の方向性を見極め、時代にあう展示事業の企画、着実な実行を進める。
- (6) 2022 年度も継続延長とされる、「中小企業経営強化税制における生産性向上設備の証明書」発行業務を担う。